

大分青少年科学館展示サイトの例

a) 大きさ・距離の座標軸(視点)

1) 微視的世界(小さな小さな世界) $10^{-18}m \sim 10^{-6}m$

電子顕微鏡をのぞく:

極微の世界を電子顕微鏡を使って実際に操作

[新潟県立自然科学館]



2) 日常的世界(我々の世界) $10^{-5}m \sim 10^7m$

力の変換に関する展示:

滑車やてこを実際に動かしてみ、力のメカニズムを勉強

[神戸市立青少年科学館]



3) 巨視的世界(はるか遠くの宇宙) $10^8m \sim 10^{26}m$

天球儀による星座:

星座を宇宙の外から見たら、どのように見えるかな?

[さいたま市青少年宇宙科学館]

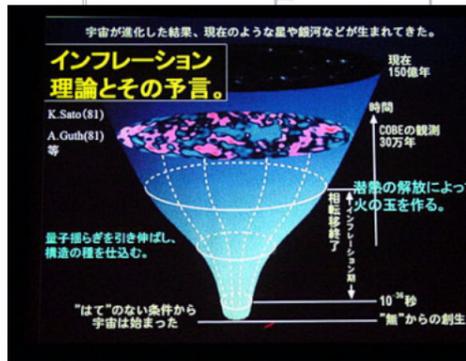


b) 時間の座標軸(視点)

1) 宇宙の初期(生まれたての宇宙 ~ はるかな過去) $10^{-18}s \sim 10^{17}s$

宇宙の誕生:

今から137億年前に宇宙は生まれました。



2) 日常的世界(我々の世界) $4.32 \times 10^{17}s$

斜めの部屋:

いろいろな錯覚を体験できる不思議な部屋

[札幌市青少年科学館]

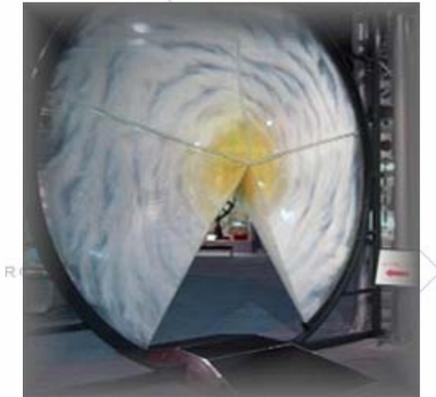


3) 宇宙の未来(恒星と宇宙の進化) $10^{18}s \sim$

銀河の立体模型:

我々の住む銀河系は直径10万光年の円盤型。それを立体的な模型で実感する

[大阪市立科学館]



c) 生命の座標軸(視点)

1) 古代の地球(生命誕生 ~ 哺乳類出現) $1.1 \times 10^{17}s \sim 2.0 \times 10^{15}s$

恐竜の世界:

ステゴサウルスの全身骨格やティラノサウルス、トリケラトプスの恐竜模型を展示

[愛媛県総合科学博物館]



2) 生命の神秘(地上にあふれる命たち) $\pm 0s$

あべこべの耳:

もしも人が左右から聞こえる音をあべこべに聞いたとしたら?

[静岡科学館 る・くる]



3) 宇宙に広がる人類(宇宙ステーション、惑星移民) $+ 3.2 \times 10^8s \sim$

月面ジャンプ:

月面における重力をマシンを使って実際に体験する

[横浜こども科学館]

